

# 美浜町

## お地蔵さんマップ



いなか道 そっとたたずむ お地蔵さん  
訪ねてみれば 心安らぐ

### 生涯学習のまち宣言

私たち美浜町民は  
 充実した生涯を送り  
 愛があふれ 住むことが誇れるまちをつくるために  
 いま 何をなすべきか 問いかけ合いながら  
 楽しく学びつづけます  
 ここに町制50周年にあたり  
 「生涯学習のまち」とすることを宣言します  
 平成16年2月11日 美浜町

### 何故この33体が選ばれたのか?

地蔵マップ作成委員会において、町内から選抜し、さらに昔から云われのあるお地蔵さんということで、この記載されている33体に絞られた。他にも多数の由緒ある地蔵さんがありましたが、紹介しきれなかったこと、ご了承ください。

美浜町生涯学習まちづくり委員会(地蔵マップ作成委員会)  
 〒919-1138  
 福井県三方郡美浜町河原市8-8 美浜町中央公民館(生涯学習センター)  
 TEL 0770-32-1212 / FAX 0770-32-5755  
 ホームページアドレス  
<http://www1.ocn.ne.jp/~mihama-e/koumin-hp/>  
 ※資料提供: 美浜町文化財保護・町誌編集室  
 調査協力: 橋本章彦(京都精華大学非常勤講師)  
 表紙: 山崎重利(太田)作



1 丹生  
歯の痛みにも効くといわれる



2 丹生  
「延命地藏」  
先祖が小浜からもらい受けてきた  
病気のときに守ってくれる



3 竹波  
通称「首なし地藏」  
パイパス工事のとき数人の作業員が「土  
の中から掘り出してほしい」との夢を見  
て発見された



4 菅浜  
「天文二三年七月吉日」とあり  
「若越」五一番  
昔はタモの木の根元にあった



18 新庄  
旧和田家敷地から出土  
無病息災・安全 鰐口に「延命地藏」  
「安永七年」（一七七八）などの銘あり  
大水の時子供が流されたがけががなかつた



19 野口  
「イボ地藏」  
イボを取ったり、子供をまもる



20 興道寺  
通称「下の地藏さん」  
御詠歌「かわる世に小田の土より身を起  
し道行く人の難を救はん」



21 河原市  
足腰によい  
オモカル石  
上がらない方がよい



5 北田  
「ムカイのじぞさん」という  
子供を事故から守る  
かつて、祭りの時は「ジュントウともしま  
すからお心持ちしだいおあずけなさって  
ください」と唱えた



6 佐田  
「波よけ地藏」  
敦賀市閩の人々を守る  
ここまで津波が来たという伝承がある



7 佐田  
「辻堂地藏」  
子供の不幸があつて立てたという  
「若越」四五番



8 太田  
「孫佐の地藏さん」という所にあつたが、  
中筋に疫病が流行ったときに三体分けて  
もらった  
子供の願いを聞くという  
「耳山西」第四六番



22 南市  
家内安全を祈願  
昭和二八年の洪水の際に流れてきたも  
のを耳川橋の工事の際に建設会社が安  
置した



23 松原  
個人宅にあつたが家人の夢枕に立ち依頼  
されたため現在の通称「浄土」に移転  
この家に不都合があると助けてくれる



24 久々子  
管理する家の者は病気が知らずで危機一  
髪で助かったこともある  
二十年ほど前に子供の心配事があつた  
ときに祠を建て替えた  
オモカル石にもなっている



25 久々子  
十一面観音か  
五輪塔や重軽石もあり  
基部に弁天の彫刻  
早朝に誰にも見られず参り続けると眼病  
が治る  
火事の際に願を掛けたら火の手がそれた



9 山上  
「見の腰地藏」と呼ぶ  
腰の痛みが良くなる  
「耳山西」第七八番「弥治兵衛受持」



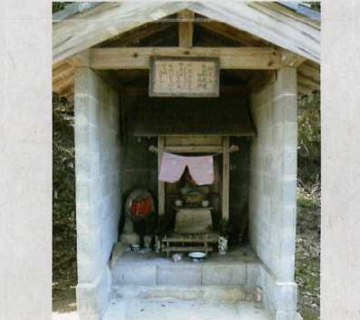
10 佐柿  
祀られて百年経つという  
もとは屋敷内にあつた  
「耳山西」十二番「若越」四六番  
石柱に「右 徳賞寺 左 国吉城」とあ  
り道祖神ともいわれる



11 坂尻  
病人のために他家より移動



12 和田  
「耳山西」九番札所  
「岩ふち不動」と並んで安置



26 郷市  
「同花山追坂地藏尊」とあり  
御詠歌「はるばるとたずねてゆけばどう  
か山ちかいとうげにいしのみすがた」



27 別所(金山)  
数代前の人が西山の田を耕していたら地  
蔵があり、寝かしておいた気が付くと立  
ち上がっているの、二軒の人が持とう  
としたが当家人だけが持ち上げられた  
お大師さんに聞くと言われた  
弘法大使の眷属の地藏といひ、列がで  
る程参拝者が多かつた



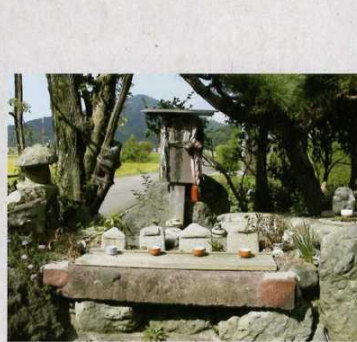
28 久保  
かつての村境  
現在地後ろの山中から出てきた



29 大藪  
川に落ちていたのを拾って祀った  
子供の病気が治った  
馬車の事故の供養とも言う



14 麻生  
「延命地藏」という  
以前は田にあつた オモカル石あり  
魚の行商人が売れる方角を占っていた



15 中寺  
祠を建てたが拜んでもらったら野天のほう  
がよいと言われた  
昔は近くに稲架を立てていたが、稲が地  
蔵にこすれると家人の目が痛くなった



16 宮代  
「大永八年二月日」（一五二八）の銘あり  
総高一八七センチメートル



17 新庄  
オモカル石あり  
「耳山西」第六三番  
もとは道の反対側の山肌にあつた



30 気山  
昔は峠だったが、酒井の殿様が道を開  
いたという 立派な堂があつたが昭和八  
年に焼けた



31 笹田  
ヨノミの木の下に祀られる  
笹田と日向の境付近  
日に効くという



32 日向  
漁の網にかかったので自宅付近に祀った  
が夢で波風の激しい所に置いてほしいと  
お告げがあり現在地に移動  
置いてある石でイボをこするとれる



33 日向  
家を移動するときどうしても地藏を人力で  
は動かせなかつた  
そこで、この場所を望んでいるものと思  
いそのままに残した